

地域新聞 みあき 第6号

地域新聞みあき製作委員会
2018年5月1日 発行
連絡先  info.miaki@gmail.com

みあき図書館

(文責) 中藤 真里

ダン・ブラウン(著)
越前敏弥(翻訳)
「ダ・ヴィンチ・コード」



宗教が背景になっており、内容が難しく、正直に言うとなんとも理解できずに読んでいました。しかし、ストーリーはフィクションであるが、芸術作品、建築物、文書、秘密儀式に関する記述はすべて事実に基づいているとのことであり、想像しながら読むと現実で起きているように感じました。又、サスペンス・ストーリーの謎解きをしていくと、とても気分がスッキリしました。

結果、宗教があまり理解できなくても、とても楽しい作品です。ぜひ読んでみてください。

みあき今昔物語

(文責) 西願寺 玉井 敬信

今回は少し趣向を変えて、新聞記事タイトルの一つである「みあき今昔物語」の3回目のトピックを兼ねさせて頂きます。当該「和尚の小屋」の2回目のトピックにて、西願寺が



2018(平成30)年現在の西願寺



1953(昭和28)年当時の西願寺

1589(天正17)年の創建以来400年以上この地に存在してきたことについて触れましたが、その寺院の史の詳細についてはほとんど解っておりません。しかしながら、一昨年の私の住職就任式である「晋山結制式」の際の清掃・整理中に、今から65年前の1953(昭和28)年、祖父が晋山式を行なった当時の白黒写真を3枚出た来しました。今回掲載した写真は、寺院の南側を流れる森川の支流、三秋川周辺から当山を撮影したと想定されるものです。現在、寺院の背後を迂回する国道378号線はまだ形跡

すらなく、山号である「大原山」のなだらかな勾配が見て取れます。また、境内は多くの樹木に囲まれ、さながら森の中の寺院の様相を呈しています。400年と比較すると、たかだが65年程度の今昔でしかありませんが、それでも周辺環境の変化がよく見て取れますし、住職はすでに三人目へとバトンタッチしています。私の時には山式の記念写真には、「お稚児行列」という着飾った子供達が写っています。写真の子供達は現在70、75才位になられておいででしょうか？写真は当山本堂に常時展示していますので、心当たりのある方は、是非一度見に来て下さい！

今年もやります

(文責) 原田 浩明

今年もホテル観賞会の開催を予定しております。昨年と同じ6月上旬頃を予定しております。詳細が決まり次第、地域新聞みあき公式ツイッターにて、お知らせいたします。



@Miaki_news
#みあきイベント

新年度 新たな船出

(文責) 原田 浩明



通常総会の様子

去る3月11日、平成29年度三秋地区通常総会が開催されました。今年は、総代および各組長・副組長以外に、3年に1度の区長改選があり、区長・総代それぞれの選挙が行われました。また、新規加入者の紹介も行われました。

この1年を振り返って

(文責) 原田 浩明

平成29年度をもって退任されるにあたり、稲垣区長・三野専務総代・藤井総代にこの1年当新聞製作に携わってきたことについて、以下の4つの質問という形で総括して頂きました。

①この1年間の新聞製作活動で最も印象的だった事は？

他地区の人から活動の取り組みや新聞内容について評価を受けたこと、ホテル観賞会や明神山イチヨウ。

②これまでの活動の中で課題だと思うことは？

掘り下げをすること。

③今後の地域新聞みあきに期待することは？

これからも活動を継続し、三秋の良いところを見つけて紹介して欲しい。

④住民の皆さんへ一言

地域新聞みあきに関心をもち、今後も活動に協力して欲しい。

三秋新三役紹介

(文責) 原田 浩明



左から稲垣新専務総代、原田新区長、水口新総代

平成30年度の新三役に選出された方をご紹介致します。

①氏名・役職・年齢・趣味

②新年度の抱負

③地域新聞みあきに期待すること或いは思うこと

④住民の皆さんへ一言

①原田実・新区長・69歳・趣味は魚釣り(近場)と菊作り
②防災意識の高揚を図る(三秋では災害はない！)と思っ

私の絶景 すぺしゃる



つくしと明神山

(撮影)谷本 和之



イノシシの檻と女兒

(撮影)谷本 和之

迫力に 昂ぶる彼岸の 帰り道

かずゆき 和

庭駆ける 子らが 見つけし つくしんぼ

かずゆき 和

①稲垣梯二・新専務総代・64歳・特になし
②防災訓練は継続していきたい(防災に対する高い意識を持つこと)。
③地域の人を知り、お互いに和が広がって行く新聞に!!
④各種イベント、説明会に多数の参加をお願いします。第3号での安心安全で暮らせる地区を望みます。

①水口浩徳・総代・62歳・魚釣り(船釣り)
②防災対策:各組の各戸の人数及び災害時の避難困難者の調査をする。コミニティ広場:29年度試験的に評議員と各種団体で楽しんで

①地域新聞みあきは、三秋住民の声を伝える新聞である。行で出して広く住民の声を! ④各種イベント、行事、説明会等、自分には関係ないと思わず参加して意見を述べて欲しい。安心安全で住みやすい地域づくりをしましょう。

③地域新聞みあきは、三秋住民の声を伝える新聞である。行で出して広く住民の声を! ④各種イベント、行事、説明会等、自分には関係ないと思わず参加して意見を述べて欲しい。安心安全で住みやすい地域づくりをしましょう。

③地域新聞みあきは、三秋住民の声を伝える新聞である。行で出して広く住民の声を! ④各種イベント、行事、説明会等、自分には関係ないと思わず参加して意見を述べて欲しい。安心安全で住みやすい地域づくりをしましょう。

みあきの SAKURA

(文責) 原田 浩明



三秋の隠れ桜スポットをご紹介します。



大西さん宅前の桜



高速道路高架下トンネル手前の枝垂桜

まず1つ目が岡田・北南組境の四角(祭りの時のぼりが立つところ)から高速道路方面へ行く途中、高架下のトンネルの手前にある枝垂桜です。

2つ目は、石尾組の大西さん宅前の桜です。大西さんの許可を得て畑の中から撮影しました。すべて、ご自身で植樹して育てた桜だそうです。どちらも見事な桜ですね。

編集後記

三秋地区が「平成30年度集落活性化モデル構築事業」の実施(モデル)地区に選定されました。これは、人口を1%取戻すことを目標とした県の集落対策事業で、地域づくり協働体構築事前サポート事業(2月に集会所で行ったワークショップ)の発展版といったところです。今年度から2年間、県・市及びえひめ地域政策研究センターからの支援を受けて、集落活性化に向けた様々な取り組みをしていくことになります。今後の進捗状況については、当新聞にて随時お伝えしていく予定です。(ひろ)



地域新聞みあきメールアドレははこちら

皆さんの家に古い写真が眠っていませんか？昔の風景やお祭り等、三秋に関する昔の写真がございましたらご連絡ください。また、その他の情報・写真も随時お待ちしています。★みあきの○○○★私の絶景etc... 近頃の当新聞編集委員もしくは、メールにてご連絡下さい。info.miaki@gmail.com

第4回野菜栽培 大学開催される

(文責) みあき野菜倶楽部



みんなで意見を出し合って分析

数えて4回目を迎える三秋野菜栽培大学が、1月20日に開催されました。今回は、カボチャ・大根・玉ネギについて、昨年の栽培状況を踏まえた熱い議論がなされました。昨年より良い結果を得ることを目標に、昨年の反省点を洗い出し、その原因について様々な角度から意見を述べ合いました。特に、大根については、実物を置いて見比べながら理解を深めていきました。



生育不良の大根を並べて比較

みんなで三秋のこと 考えてみよう

(文責) 原田 浩明



三秋の自慢できるものについて話し合う

2月18日、三秋集会所にて、三秋地区のことを考えるワークショップが開催されました。これは、愛媛県が実施している「地域づくり協働体構築事前サポート事業」の一環で、平たく言うと、過疎化や高齢化等で元気を無くしつつある地域に元気になってもらうようなサポートする事業です。この日は、当新聞委員をはじめ、住民約25名が集まり、えひめ地域政策研究センター担当者の進行のもと、「地域の自慢できるもの」や「地域でこれからやってみたいこと」をテーマについて話し合われました。また、ゲストとして、昨年京都より市内郡中へ移住された吉田さんや、愛南町に地域団体を立ち上げ活動している「まるごと緑」の木村さん、森さんにお越し頂き、移住や地域活動等についてお話し頂きました。そして、ワークショップ後には、木村さんが仕留めたイノシシ・シカ肉のバーベキューを味わいながら、和やかにそして熱く地域活動について語り合いました。



イノシシ&シカ肉でBBQ



「まるごと緑」の木村さん

た。今回の事を機に、地域間交流の促進や地域活性化に対する新たな発想が生まれ、三秋地区全体が元気になればと思います。

研修に行ってきました

(文責) 原田 浩明

〇移住フォーラム

2月25日、東温市農村環境改善センターにて、平成29年度東温市移住フォーラムが開催されました。フォーラムは2部構成で、第1部が地域住民と移住者によるパネルディスカッション、第2部は「民泊新法の解説と宿泊サービス



移住フォーラム(東温市)

開業に向けてのアドバイスと題しての特別講演で、何れも我が三秋地区が今後の取り組みべき課題に対して大変参考になる内容でした。特に、第1部のパネルディスカッションにおいては、2月18日の三秋地区のことを考えるワークショップにて、ゲストとしてお越し頂いた、吉田さん、木村さん、森さんがパネリストとして参加されており、ワークショップでは聞けなかった『移住』に関する深いお話を聞くことができ、交流が深まりました。



集落活性化シンポジウム(伊方町)

〇集落活性化シンポジウム

2月28日、伊方町生涯学習センターにて、平成29年度集落活性化シンポジウムが開催されました。シンポジウムは

第2回明神山登山

(文責) 原田 浩明



山頂に立ててあった看板

2年前の平成27年11月、第1回明神山登山(第2号に掲載)を行いました。その際、深いヤブでなかなか前に進めず、登頂を諦め途中で断念。そして、その翌年の平成29年12月23日、再度山頂を目指して、新聞スタッフ3名で、第2回明神山登山を実行しまし



途中で見つけた野鳥の卵(ムクドリ?)



山頂から尾根伝いに三秋方面へ

こんにちは赤ちゃん

(文責) 稲多 早苗



お父さんに抱かれている紬之くん

三秋の岡田組に新しい命が誕生しました。谷本紬之(たもと ともゆき)君です。平成29年9月20日生まれです。名前には、これから出会うたくさんの方々の繋がりを大切に、豊かな人生を歩んでほしい。目標を達成してほしいという思いが込められているそうです。何と、お父さん、お母さん共に双子のこと。珍しいですね。谷本さん夫妻はボランティア活動も盛んに行っています。詳しい内容は今後、ご紹介する予定です。お楽しみに。

入学おめでとう

(文責) 稲多 早苗

★小学1年生(写真右から) 藤井彩佳ちゃん…1年生になったら、お友達をいっぱい誘って小学校生活を頑張ります。 川本朱里ちゃん…1年生になったら、跳び箱と勉強をがんばります。 久保大和くん…1年生になったら、勉強を頑張ります。

卒業おめでとう

(文責) 稲多 早苗



3人並んでハイポーズ！



小学校最後の思い出に

★小学生(写真右から) ①小学校6年間の思い出②中学校での抱負 河野姫和さん…①修学旅行で海響館(水族館)に行ったこと。②合唱部に入って部活を頑張る。 稲多慶次くん…①水泳大会②難しい勉強の内容も理解できるよう頑張る。 川本悠雅くん…①修学旅行②部活でも勉強でもくじけず頑張る。バスケットでは全国大会に向けて頑張る。 稲多教経くん…①水泳大会の練習が楽しかったこと。②勉

子供たちに安心安全を

(文責) 原田 浩明



豊永橋前の横断歩道(早朝)

強の成績が学年で5位以内になるよう頑張る。 ①中学生 ①中学校3年間の思い出②これからの抱負 新多凌くん…①修学旅行。皆と色々な場所に行つてとても楽しかった。あまり話さなかった友達とも仲良くなれ良かった。②高校生活で頑張りたいことは部活です。バスケットに入り、3年間続けたい。一生懸命練習に取り組み活躍できる選手になりたい。

三秋を訪ねて

(文責) 吉田 克浩



ソテツの説明を受ける吉田さん(奥)

「綺麗な地名：」私の第一印象です。郡中からR378を双海方面へ向かうと、三秋峠の登りに辿り着く。私が「三秋」の存在を知ったのは、まだ半年前の事。何故なら昨年7月京都府伏見区より郡中に移住してきたから。 今年の2月、急遽三秋地区の集会に参加する事となり、そこで原田さんご夫婦と出会った。地域の皆様が地元のセイルスポイントを熱心に議論されている姿に共感を覚え、この地域を自分の眼で見て肌で感じたあと、早速原田さんに案内をお願いしました。 快晴の土曜日、その思いは実現し、集会所を9時半に出発。西願寺↓旧三秋信号所跡



三秋橋から伊予市内を望む

↓端の左衛門の墓と地蔵↓銀杏広場↓三秋大池↓温泉発掘跡↓正一位水之大明神社↓三秋橋展望所等々を散策。道中、吉岡様宅で豪華なディナータイム、大池では原田夫人手作り弁当を堪能し、菜の花や土筆の天婦羅に感動。 皆様は地元をどのように見ておられるのだろうか。もしかして「何もない」と誤認してはいかないか。こちらでは京都を羨むような話ばかりが聞かれるが、確かに観光地化した場所はないけれど、三秋には各セクションのポイントゲッターが一通り揃っていると思う。今回の散策ルートだけは思い返しても、西願寺には樹齢600年のソテツと600巻の大般若経、信号所跡は目の前を予讃線が通過する掘り鉄の聖地、民間人最古の墓、銀杏広場ではアウトドア、大池なら釣りだけでなくレガッタ競技も出来そう、最上位格の神社も現存し、松山道をアートのように映し出す雄大な展望所は愛の聖地にぴったり、付録として温泉発掘失敗の笑いも取れる。これらに加え新鮮な農産物やホテルに案内をいただきました。 まで、まだまだありそう。 小説やドラマに出てきそうな素敵な風景「三秋」がここに

存在しています。

「右、左右。」よし！

(文責) 原田 夏子

4月18日、澄み渡った青空の下、北山崎小学校で伊予署・交通安全協会の指導で、交通安全教室が行われました。最初に、全校児童が参加して、『車は急に止まれない』という事をパトカーを使った制動実験で確かめました。続いて、新1年生だけ、横断歩道の渡り方を運動場にて練習後、公道に出て実際の横断歩道を渡りました。皆さん、信号が青になっても左右の確認を忘れずに。



学校の運動場で練習



実際の横断歩道で実践